

7. 28山口・島根豪雨災害の復興 に向けた普及活動の展開について

～被災地域のくらしと農業の再建に向けて～

萩市上小川 2013. 7. 28

発表者 萩農林事務所農業部 野村、垣内

< 発表の内容 >

1 課題・背景

2 普及活動の内容

- (1) 被災状況の把握、活動体制の整備
- (2) 緊急的な復旧支援活動
- (3) 復興に向けた先行的取組(営農とくらし)

3 普及活動の成果

(復旧・復興初期段階での知見等)

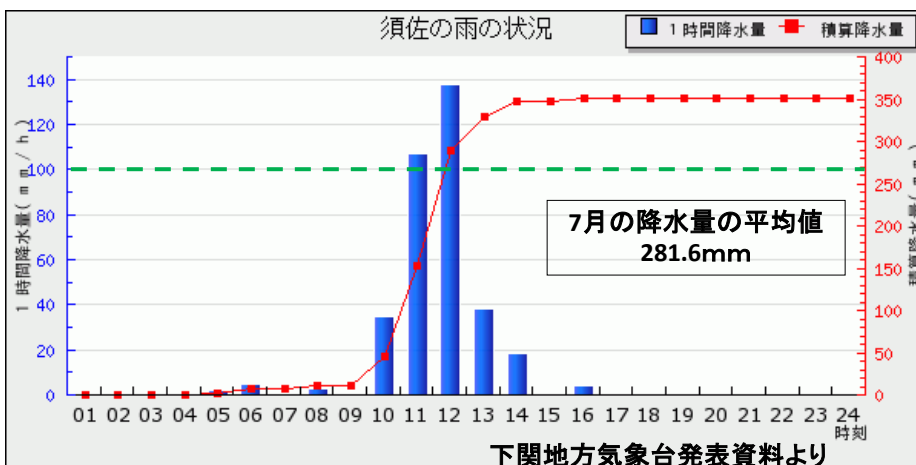
4 今後の活動展開

1 課題・背景

7月28日午前10時頃
それは突然やってきた
ほんの数時間前まで
これから襲いかかる豪雨災害を
いったい誰が予想しただろうか

1 課題・背景

萩市須佐では、12時30分までの3時間に7月の月降水量の平均値281.6ミリを上回る301.5ミリを観測する記録的な大雨となった。





須佐川の氾濫

国道191号
須佐トンネル
前の土台崩壊



田万川 県道14号
阿北苑前

県道14号
高岩橋
護岸流失





豪雨の爪痕

1 課題・背景

阿北地域において
当初から計画・実践中の普及活動
「担い手の確保育成」と「生産振興」

大きく方向転換

緊急的かつ最重要課題
「被災地域の復旧・復興対策」



2 普及活動の内容

(1) 被災状況の把握、活動体制の整備

○ インフラストラクチャーの状況把握

日々刻々と変化
情報の錯綜混乱

全職員が幅広く情報収集
マップで所内揭示、更新

被災状況の全体像の把握
現場活動の二次災害防止

○ 営農とくらしに係る担い手の被災状況の把握と情報共有化

被災者の心情
情報の混乱

細心の注意を払いながら
情報収集、部内一元管理

現場活動の重複回避
「阿北つうしん」の発信

○ 多岐に渡る復旧支援対策等の情報整理

農業関連以外の
生活全般の相談

分野を横断した被災関連
支援対策等の独自整理

現場活動での活用

○ 所内組織体制の整備と部内業務体制の再編

全体復旧のパーツ
としての農業復旧

災害復興萩農林事務所
プロジェクトの設置

土木、市災害復興局との
連携、部内業務の再編

2 普及活動の内容

(2) 緊急的な復旧支援活動



リンドウ被災
ほ場復旧支援
(Y法人)



タマネギ出荷
調製作業支援
(O法人)



2 普及活動の内容

(2) 緊急的な復旧支援活動



被災農地全筆
状況調査支援
(H法人)



被災農業施設
等の復旧支援
(全体)



2 普及活動の内容

(3) 復興に向けた先行的取組(営農とくらし)



営農再開に向けた検討



農地流入土壌の土壌分析

野菜を作ってみませんか?

農産物の産地は、「空・水・土」の環境から成り立ち、農民の努力・愛情・働きかけから産物が多量に育ちます。特に、産地の環境・気候によって産物の味が異なります。

流入農地の土壌改良プログラム

土壌改良	100㎡あたり	100㎡あたり	100㎡あたり	100㎡あたり	100㎡あたり	100㎡あたり	100㎡あたり	100㎡あたり	100㎡あたり
土壌改良	300,000	220,000	130,000	100,000	80,000	70,000	60,000	50,000	40,000
プロット	240,000	150,000	80,000	70,000	60,000	50,000	40,000	30,000	20,000
キャベツ	315,000	225,000	90,000	80,000	70,000	60,000	50,000	40,000	30,000
かぼちゃ	150,000	80,000	50,000	40,000	30,000	20,000	10,000	10,000	10,000

○ 農地改良にともなう、施設内・施設外に備蓄可能な土壌改良剤

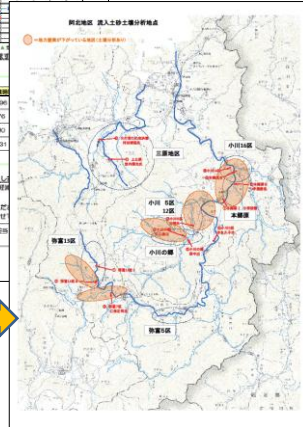
土壌改良

○ 施設内で施設内に適した土壌改良剤が購入し、土壌改良剤を散布し、施設内環境を改良し、施設内環境と利用する機械等の準備、費用補助を行います。

○ 上記の項目を優先し、それ以外の項目も併用して行うことも可能です。

JA あすらとく 営農課 担当 田中 TEL: 08387-4-0311

被災農地への作付推進対策



流入土壌改善対策

2 普及活動の内容

(3) 復興に向けた先行的取組(営農とくらし)



担い手の経営相談



被災地から新規法人設立の動き



2 普及活動の内容

(3) 復興に向けた先行的取組(営農と^{くらし})

分野を横断した関係機関の連携体制作り

萩市災害復興局生活再建支援事業部
萩市企画政策課
田万川総合事務所市民窓口部門
萩市社会福祉協議会
萩市生活応援センター
萩農林事務所農業部



2 普及活動の内容

(3) 復興に向けた先行的取組(営農と^{くらし})



萩広域生改連
交流研修会
～被災者による体験談～

3 普及活動の成果 (復旧・復興初期段階での知見等)

- 所内・部内体制整備、関係機関連携
- 部局を横断した支援内容、情報の一元管理
- 電子メールを活用した情報の交換・共有化

被災状況の正確かつ迅速な実態把握と情報の共有化
幅広い住民ニーズへの柔軟な対応

- 営農活動の緊急的支援⇒生活復旧の側面的支援
 - 被災農業施設復旧の迅速な事業活用支援
- ※ 営農活動組織による生活復旧支援活動の実態も明らかに

くらしの維持と営農活動再開に向けたきっかけ

- 営農活動復興のための体制整備と先行的な取組
- 安心なくらし実現のための新たな体制と実践

災害復旧から本格的な地域復興への新たな活動展開

4 今後の活動展開

7. 28山口・島根豪雨災害がもたらした. . .
- ⇒ いのちとくらしを脅かす非常事態と混乱
 - ⇒ 被災各地域で究極の「強み」と「弱み」が発現

豊かなくらし
営農活動再開

阿北幹事会

経済活動としての営農
再開をマネジメント

安心なくらし
しくみの実践

7. 28豪雨災害発
安心なくらし
実現プロジェクト

安心なくらし実現の
しくみをマネジメント

復旧から復興のステージへ



平成26年2月4日・普及活動高度化発表会

豪雨災害によって強く再認識された

「安心して住み続けることのできる地域社会」

この実現に向けて

くらしと営農の両面から

各地区や組織の復興の進度に歩調を合わせ

地域に寄り添いながら現場活動を継続的に展開